



とつか

2022年6月会報 第332号

- 国際会長(IP) Kim Sang-chaе (Korea)
- 2021 主 題 “Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」
 スローガン “Heal the World with Love & Dignity” 「愛と尊厳で世界を癒そう」
- アジア太平洋地域会長(AP) 大野 勉 (神戸ポート)
- ~ 主 題 “Make a difference beyond the 100th” 「100年を越えて変革しよう」
 スローガン “Be healthy!” 「健康第一！」
- 東日本区理事(RD) 大久保 知宏 (宇都宮)
- 主 題 「私たちは次の世代のために何ができるか？」
- 2022 スローガン 「絆を深める時」 “We are stronger together than we are alone.”
- 湘南・沖縄部部长(DG) 若木 一美 (横浜とつか)
- 主 題 「咲かそう 人の輪～明るく・楽しく・元気よく～」
- 主 題 クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」
 副会長 吉原 訓・書記 加藤利榮・会計 岡 進・メネット 吉原和子・担当主事 瀬戸俊孝



~~~~~

### 会員ひと言

#### ☆ 私たちの体について ☆ 浦出昭吉

私たちは、日々、老齢化の一途をたどっております。ひるがえって、ご自分の体についてお考えになったことはありますか。今日は、皆さんとともに、この場をお借りして、しばらくこの問題について考えてみたいと思います。

最近、特によく言われることは、健康の一番の指針となるものの一つに、一日当たりの食事の摂取量についてです。ズバリ申し上げて、1600キロカロリー/日が相場なんだそうです。…唐突に言われても…と当惑顔の皆さんの顔が浮かんできます。それでは、もう少し具体的に申し上げますと、主食となる“ごはん”は朝昼晩とも‘小さめのお茶碗で軽く1杯’なんだそうで、食パンだと、1回に“6枚切り”で“1枚半”なんだそうです。そして、“おかず”、こちらも、私たちにお馴染みのお肉・お魚・果物の類いは食べ過ぎない程度に…ということだそうです。

食べものはこれくらいにして、次はウンドウの方ですが、こちらは‘一日6,000歩’が基準とされています。あとは、申すまでもなく“深睡眠”、“朝までぐっすり…”といきたいところですね。そして、残る問題点は、‘体重’ ‘喫煙’ ‘飲酒’ …といったところでしょうか…。

以上ですが、私を含め、これらの項目は何としてでも…に。

| 会員数 |   |    | 5月の会合 |     |    | 出席率 |     |        | ファン |   |   | CS・TOF・A S F |   |   | B A P Y |     |     | ロ   |     |     | バ   |     |  |
|-----|---|----|-------|-----|----|-----|-----|--------|-----|---|---|--------------|---|---|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| メ   | ン |    | メ     | ン   |    | 92% | 他   | B      | F   | B | F | A            | S | F | (円)     | (円) | (円) | (円) | (円) | (円) | (円) | (円) |  |
| メ   | ン | 11 | メ     | ン   | 10 | 92% | 前月迄 | 50,000 |     |   | 0 | 0            | 0 | 0 | 0       | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |  |
|     |   |    | メ     | ネット | 1  |     | 当 月 |        | 0   |   | 0 | 0            | 0 | 0 | 0       | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |  |
|     |   |    | ゲ     | スト  | 1  |     | 累 計 | 50,000 |     |   | 0 | 0            | 0 | 0 | 0       | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   |  |
| 計   |   | 19 | 合 計   |     | 12 |     |     |        |     |   |   |              |   |   |         |     |     |     |     |     |     |     |  |

★強い義務感を持つと 義務はすべての権利に伴う★

### 【今月の聖句】

御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とかめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。

一テモテへの手紙二4章2節一

私たちにとり、弱さや恵みを共有することは有益です。自分の弱さを通して他の人々への励ましが生まれたり、自分の受けた恵みによって他の人々にも喜びが届きます。生きて働き、私たちを強めてくださることに感謝します。

### YMCAリエゾン・IBC・評価 強調月間 次年度計画

初めの“YMCA リエゾン”、耳慣れないことばですね。これは、ワイズとYMCA、それにコースとの相互理解と発展を図るために設置された連絡責任者のことで、今期は、国際・交流事業主任の山田公平さん(宇都宮クラブ)が責任者として、その任に当たって来られました。

さあ、今期の月間もいよいよ次年度へと…。

## 会長報告

## ☆ 久しぶりの第2例会から ☆

若木一美

日 時：2022年5月17日（火）18:00～19:30

会 場：湘南とつかYMCA・404号室

出席者：浦出昭吉・加藤利榮・鈴木ひろ子・吉原 訓

若木一美・瀬戸俊孝担当主事

久しぶりに対面例会で開催されました。

協議では、次期会長に吉原さん、そして部長は厚木クラブの小松仲史さんの確認が行われました。

今後の日程：—

5月21日（土）・18:00 湘南とつかYMCA 運営委員・スタッフ・リーダー交流会

5月28日（土）・10:00 部研修会・横浜YMCA 総会

6月4～5日 東日本区大会（オンライン）

6月7日（火）：19:00 第94回Y-Y'S協議会

6月21日（火）第2例会～今期最終例会～

7月2日（土）新年度第1例会・総会

以上です。皆さんのご出席をお待ちしております。

顧みますと、2020年7月、コロナ感染の真っ最中に会長職を浦出会長から引き継いで2年間、何も出来ないまま任期を終えようとしています。とつかクラブでは、対面やオンライン例会は開催しなかったのですが、その代わりに、ブリテンや電話・電子メールによる交流・交換で、状況を確認しながら活動を展開

してまいりました。一つ、大変残念だったことは、横浜クラブからのチャーターメンバーだった川津政義会員が体調悪化となり、退会のやむなきに至ったことです。川津さんは、例会には大変積極的に出席され、またあの独特の語り口でご意見を述べられておられたのが、いまだに印象に残っております。余技に鎌倉を中心とする画家の集まりである‘彩游会’の会員でもあり、何度か展覧会場におじゃましたことがよみがえってきます。一日も早く健康を回復されますよう、祈っております。

e-とつか祭やチャリティーラン等、大きな事業が見直されるなか、昨年からリーダー会の皆さんと活動を共にすることができました。瀬戸担当主事の仲立ちでゆるやかな連携を持つようになりました。来期以降もこの関係を続けていきたいと考えております。瀬戸さん、よろしく…。

次々期にはクラブ創立30周年を迎えます。無理せず、明るく・楽しく・元気よく、人の輪を咲かせてまいりましょう。

2年間、大変お世話になりました。

ありがとうございました。



## ☆湘南・沖縄部研修会から☆

若木一美

5月28日（土）10時から12時まで、部研修会が横浜市舞岡地区センターで開かれ、会長ほかクラブ役員ら15名が参加、講師に、元横浜YMCA・現同盟総主事の田口努さんを迎え、熱のこもったひと時を過ごしました。テーマは「法人化で目指すこと」、正面のPC画面に要旨を映し出ししながら、たっぷり1時間のご講話でした。『なぜ法人化が必要か、法人化に至る経緯、メリット・デメリットの検討…』といったところが主な内容だったようです。2012.11:初めてワイズメンズクラブで法人化の検討が始まる。主に、NPO 法人と一般社団法人のメリット・デメリットの比較が話題に…。2013.6:諮問内容の答申書の作成と継続審議の確認。2020.9:任意団体から法人化への転換と想定問答集の作成。2021年に至り、齋藤由也氏から、「法人格は、社会的信用の向上・行政からの仕事の受理等が主なメリット、ワイズ運動の拡大の道具とみることができ、目的ではない。この道具の活用如何が各ワイズに託されている。」の意見が出た。要は、ファンドレイジング、その他のメリット面の検討が今後の課題となろう…、と。



## ☆湘南とつかYMCA交流会から☆

加藤利榮

5月21日（土）交流会の前に18時から4階・404号で開かれた運営委員会では、例により、各事業部門の報告がそれぞれの責任者から、その後、運営委員長が吉原訓さんから若木一美さんに引き継がれ、挨拶があつて、セレモニーは終了、連絡・確認事項をもって閉会、直ちに1階ホールに移動、すでに入室を終わっていたスタッフ・リーダーらに迎えられ、指定された席に着きました。

清水臣牧師（運営委員）の開会礼拝で始められた交流会、健康教育・オルタナティブ・アフタースクール・スポーツ専門学校・語学教育・乳児保育園・とつか保育園、それに、横浜市舞岡地区センターの頃にスライドを使ってのスタッフからの報告があつて、次は運営委員の紹介、指名されて、私からもひと言、会は、和気あいあいのうちに笑顔と歓声のうちに定刻の20時、終了・解散となりました。

帰途、若木会長に誘われ、久しぶりに会食しました。





## ☆会員増強について☆



次期理事 佐藤重良(甲府 21)

貴クラブのブリテン 2022 年 4 月号の中に  
会員増強に関し辻 剛さんが“キーパーソン  
大作戦”を書かれておりました。

昔から新しいクラブを設立するには、「キー  
パーソン確保」が一番大切と言われてお  
りますが、辻さんの文章の中に、大切なキーワードが有った  
ので採録させていただきました。

- 1) キーパーソンをリーダーとする 5, 6 人のチームを二つ作  
って動く。
- 2) 会員の高齢化はメリットである長い人生を経てきたたく  
さんの知人・友人ら豊富な人脈を持ち、人格的にも優れた  
キーパーソン適任者がたくさんいる。
- 3) YMCA をサポートするワイズメンズクラブが無いとい  
う空白期間を無くしたい。
- 4) 横浜 YMCA には 50 のブランチがあるが、ワイズメン  
ズクラブは 7 つしかない、

など会員増強に関する意欲的な活動のキーワードが  
沢山述べられております。

横浜 YMCA 管轄内では、横浜つづきクラブのみが 16 名、  
横浜 YMCA のスタッフの方の人数は 477 名、これに対して  
横浜 YMCA 管轄内の 7 つのワイズメンズクラブの合計人数  
は 83 名。因みに、あずさ部の場合には、山梨 YMCA スタッ  
プ数 78 名、あずさ部 111 名です。YMCA のサポート隊とし  
て、より良い活動をしていくためには、YMCA の人数に伍す  
る陣容 (1 クラブ 15 名以上のクラブ) が必要であると考えます。

コロナ禍でのニューノーマルが取り沙汰されます。奉仕団体  
にも新たな動きが出てくることでしょう…。湘南・沖縄部の「沖  
縄グローバルクラブ」の設立をぜひ実現したいものです。具体的  
な活動方針は、部エクステンション委員会の辻委員長さんが述べ  
られております。私が申し上げたいのは、職業上のスキル・  
専門能力を活かした奉仕活動 (プロボノ) するために

だれかれ 入ってください… ではなく

例「あなたに 入って欲しい」…なぜなら、子どもの  
〇〇が出来る△△の資格を持っている人が必要だ  
から…。だから貴方に入会して欲しい… とダイ  
レクトに声掛けする…、等々。

「会員増強」に関する話題はこのくらいにして、次に  
次期理事としてのお話を少しさせていただきます。

## 2022-23年度 理事主題:

「未来に向けて 今すぐ 行動しよう」  
スローガン「誰かのために奉仕して 自分のための  
楽しいクラブライフを」です。

ともに より良いYMCAのため・地域社会のため  
奉仕し貢献しましょう。

以上

(佐藤様、お忙しい中、意義深い玉文を有り難うございました。)

## 沖縄随想

## ☆沖縄YMCA時代を振り返って☆

元沖縄 YMCA 職員・沖縄しいーさあークラブ会員  
上間かな恵



5 月初旬に加藤利榮さんから横浜とつづきクラ  
ブのブリテン 5 月号とお便りをいただき、そ  
の中の大森節子さんの文章を読みながら忘れか  
けていた記憶がよみがえり「懐かしいなあ…」  
と思っていたところ、加藤さんよりお電話で  
寄稿を依頼され驚きました。驚いたのは原稿依頼のことよりも、  
加藤さんの変わらない張りのある元気なお声でした。

初めまして…の方がほとんどだと思いますので、簡単な自己  
紹介をさせていただきます。私は 1990 年 4 月から '98 年 3 月  
まで、主に沖縄 YMCA 国際ホテル専門学校を担当職員として、  
教務及びいくつかの授業を受け持つ講師をしておりました。小  
さな YMCA ですので、授業が終わり学生が帰った後は、文化教  
室の受付、ときには受講生として、夏は子どもたちのキャンプ  
に同行したり、また沖縄しいーさあークラブの発  
足と活動に関わったりと、実にいろんな体験をさせていただきました。  
勤務時代は、児玉忠司さん、秋重殉さん、武藤直二さ  
んの 3 人の総主事にお世話になりました。特に名古屋 YMCA  
から熱い志を持って着任された秋重さんは、関係するいろんな  
方を鼓舞し、沖縄の地域社会と新しい関係をつくりあげ、沖縄  
YMCA の歴史に記すべき役割を担われた思い出は忘れがたい  
ものばかりで、今でも親しく交流させていただいております。

'98 年に退職した後は、宜野湾市にある私設美術館の佐喜眞  
美術館で学芸員として現在も勤務しています。佐喜眞美術館は、  
県内で初めての個人美術館として米軍普天間基地の一部を返還させ  
た土地に 1994 年の 11 月に開館しました。《原爆の図》で知られ  
る丸木位里・丸木俊夫夫妻が最晩年に取り組んだ《沖縄戦の図》  
(全 14 部の連作) が常設展示されており、企画展やコレクション  
展で年 3~4 回の個性的な展覧会を開催しています。美術館の仕事  
は、特に個人美術館ですので、学芸員といえども、よく言われ  
ますが、まさに「雑芸員」として絵の解説や調査以外にも、金  
槌を持って脚立に上ったり、額入りの大きな重い作品を搬入・  
搬出・梱包したりと体力仕事もかなりありますが、そこは、元  
YMCA 職員、在職中に鍛えられた体力とスキルで、こなすこ  
とができます。《下の写真は佐喜眞美術館の前景》

ワイズメンズクラブの会員としての思い出もたくさんありま  
すが、無理だと言われていた東日本区沖縄大会を那覇の両クラ  
ブと湘南・沖縄部の皆様の熱いご支援とご協力をいただきながら  
参加された皆様とともに楽しく成功に導けたことは、感動の思  
い出として今でも心に残っております。有り難うございました。

今後とも、貴クラブのご活動・ご発展を願ってやみません。



「怒らないコーチング、怒らない子育て」講座のご案内

横浜YMCAでは、表題のテーマで、「横浜YMCA2022ヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーンパネルディスカッション」ということで、「育もう 子どもの『考える力、生きる力』」をサブ・テーマに、スペシャルゲストを招き、パネルディスカッションを実施し、つい怒ってしまうことで、子どもたちの主体性や考える力を奪っています。

このパネルディスカッションを通して、子どもたちのために私たちに出来ること、大人が変われば子どもが変わるということに気付く機会になれば…と願っています。

是非、ワイズ皆様のご参加をお待ちしております。

【開催日】2022年6月5日(日) 15:00~17:00

【会場】湘南とつかYMCA(感染予防対策を講しながら実施します)

【対象】大人向け(YMCA会員、一般方もどうぞ)

【定員】会場50名・オンライン150名(先着順)

【参加費】無料

【申込み】5月6日(金)13時~・定員になり次第〆切り

【ヘルシーキッズ&ファミリーキャンペーンとは】

子どもたちの健やかな心と身体を育む成長の支援、また家族で健康について考える機会として、横浜YMCAが実施するキャンペーンになります。神奈川県下のYMCAにおいてさまざまな取り組みを実施いたします。

【スペシャルゲスト3人のお考え・方針】

- ◎ 益子直美氏:「監督が怒ってはいけない。」がモットー。
- ◎ 池上 正氏:「伸ばしたいなら離れなさい。」と指導。
- ◎ 一場哲宏氏:「子供たちが主役」運営から試合まで。

☆ 今月の歳時記から ☆

「さくらんぼ」と「昼顔 ひるがお」

「さくらんぼ」、一般にサクランボと言われるものは西アジア原産のチェリーとかシナ原産の桜桃(おうとう)とか言われる実桜の実を指す。つやつやした淡紅色または赤黄色で、美しく、甘酸っぱく美味である。初夏の果物として喜ばれる。冷涼な気候に適し、東北地方の山形・福島両県はその主産地。

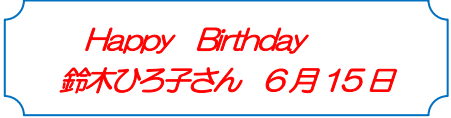
|                 |     |
|-----------------|-----|
| 舌に載せてさくらんぼを愛しけり | 草 城 |
| さくらんぼ子に食べさせて母若し | 立 子 |
| さくらんぼ少女期は父に愛されし | 礼 子 |

次に「昼顔」、山野辺に自生する。ひるがお科の多年生つる草。夏が来ると、朝顔に似た淡紅色の小さい花が咲く。花が昼開いて夕方しぼむことから、朝顔・夕顔に対し、この名がある。子供らは、昼顔の花を摘み、ほっぺにつけたりして、喜び遊ぶ。鼓子花(コシカ)、旋花(センカ)とも書く。

|                |     |
|----------------|-----|
| 豆腐屋が来る昼顔が咲けにけり | 一 茶 |
| 昼顔に猫捨てられて泣きにけり | 鬼 城 |
| 昼顔の露に踏み入る二歩三歩  | 湘 子 |

- ◎ 6月4日(土)~5日(日):東日本区大会(オンライン)
- ◎ 6月7日(火)・19時:第94回Y-Y'S協議会
- ◎ 6月21日(土)・18時:第2例会:今期最終
- ◎ 7月2日(土)・18時・第1例会:総会

~いずれも2ページ参照~



アンジュ通信

横浜YMCAワークサポートセンター 相馬良文

ワークサポートセンターでは、5月にも新たな利用者が加わり、にぎやかに活動を行っています。

ゴールデンウィークは、休日が続き楽しみな時期です。

長い休みは、仕事を再開

するために大きなエネルギーが必要になります。

10日間の期間中に2日間の活動(出勤)日を設定、レクリエーションや映画鑑賞などの余暇支援と生活支援を行いました。

体調を整えて過ごした休み明けは全員が良い再スタートをすることができました。



正に“珍事中天”が…

「ちんじちゅうよう」と読むのだそうです。

「珍事中天に逢うこと常の事なり…」(義経記)に由来するとか…。つまり、「思いがけない災難にいつ・なんどき遭ってもおかしくない。日ごろの心構えが…」の意味だそうです。

なんで今更…と思われるかもしれませんが、実はこの5月の初めに、私にとりとんでもないことが起きてしまいました。それは、重宝していたパソコンが、突然に字も図も絵…すべてが消え失せ、少々大袈裟な言い方をすると、わたしの日ごろの生活の半分以上が消えてしまったと申しても過言ではありません。実は、娘から事あるごとに、「ジイちゃん何でもいいからUSBに入れときな…」と言われていたのが、突如として現実となりました。正に呆然自失とはこのこと…。

そして、連休中にヨドバシ…へ。このプリンもなんとか四苦八苦の末に…、以来、娘と孫によるトックンの毎日が…。

消えたアドレスやドキュメント、修復中ですが、なお一部の皆さんにはご迷惑が掛かっており、極力、対策を講じてはおりますが、お赦しのほどを…。この歳になって思わぬチンジチュウヨウの日々です…。

加藤利榮

〈後記〉 ワイズ年度の大晦日を迎えようとしています。

意義深い次年度も宜しく…。

〈T/K〉